

研究計画概要

助成年度・種別	2024年度 若手研究助成
研究者	向井 智哉
所属	福山大学
研究テーマ	男性被害者に対する非難の現状, 原因, 対策の実証的検討
研究計画概要	<p>近年, 犯罪被害者に対する非難(バッシング)には厳しい目が向けられるようになり, いまだ不十分ながらも被害者を取り巻く状況は少しずつ改善に向かいつつある。しかしその中で, たとえば SNS 上における男性の被害者に対する非難は根強いものがあり, 対応が求められている。</p> <p>このような現状を踏まえ, 本研究では, ①男性被害者に対する非難がどのような現状にあるのか, ②どのような要因が男性被害者に対する非難を強めているのか, ③軽減のためにどのような働きかけが可能なのかを実証的に検討することを目的とする。</p> <p>具体的には, 質問紙法や実験法を用いて, ①女性と比べて男性の被害者は非難を受けやすいのか, ②ジェンダー規範の強さが男性被害者に対する非難と関連するのか, ③どのような働きかけ(教示等)が非難を弱めるのかといったことなどを中心に検討を進める。</p> <p>これらの検討を通じて, 男性のみならず女性も含め, そして犯罪の被害に遭っていない人も含め, およそ「人」がジェンダー規範をはじめとする各種の規範に過度に縛られない社会に向けた知見を提供することが本研究の究極的な目標である。</p>
選考委員からのコメント	<p>時宜に適った社会的意義のある研究課題であり, ジェンダー意識に敏感な若手研究者ならではの挑戦的な研究として期待を込めて評価した。ジェンダー意識と被害者非難との間に相関が認められたとしても, その原因の特定やジェンダー意識への介入は至難と思われるが, なぜ「強くあれ」という男性のジェンダー意識が生まれ維持されてきたのか, ジェンダー意識の強弱を伴う社会の諸組織に即して明らかにしてほしい。</p>